

市町村合併 情報コーナー



合併のメリット デメリット

ここでは、国や県が示した一般的な事項のうち、メリットについてご紹介します。

なお、デメリットについては8月号で掲載予定です。

メリット

住民の利便性の向上

利用可能な窓口の増加により、住民票の発行などの窓口サービス



すが、住居や勤務地の近くなど多くの場所で利用可能になります。

旧市町村界を越えた見直しにより生活の実態に即した小・中学校区が設定できます。

利用が制限されていた他の市町村の公共施設（図書館、スポーツ施設、保健福祉センター等）が利用しやすくなります。

サービスの高度化・多様化

小規模市町村では設置困難な女性政策や都市計画、国際化、情報化等の専任の組織・職員を置くことができ、より多様な個性ある行政施策の展開が可能となります。

従来、採用が困難または十分に確保できなかった専門職の採用・補強を図ることができ、専門的かつ高度なサービスの提供が可能となります。

一般的に、合併の際、福祉サービスなどのサービス水準は高い水準に、負担は低い水準に調整されます。

行財政基盤の強化による行政サービスの充実や安定が図られます。

公共的団体などの統合や新設が図られ、多様な事業、広域的な事業などの展開が可能となります。

なり、職員がレベルアップして行政レベルも向上します。

重点的な投資による 基盤整備の推進

重点的な投資が可能となり、地域の中核となるグレードの高い施設の整備や大規模な投資を必要とするプロジェクトの実施が可能となります。

行財政の効率化

総務、企画等の管理部門の効率化が図られ、相対的にサービス提供や事業実施を直接担当する部門等を手厚くするとともに、職員数を全体的に少なくすることができま



住民の安らぎの場となっている“ふるさとの広場”

三役や議員、各市町村に置くこととされている委員会や審議会の委員、事務局職員などの総数が減少し、その分経費も節減されます。

広域的観点からスポーツ施設、文化施設等の公共施設が効率的に配置され、狭い地域で類似施設の重複がなくなります。

広域的観点に立った まちづくりと施策展開

広域的視点に立って、道路や公共施設の整備、土地利用、地域の個性を生かしたゾーニングなど、まちづくりをより効果的に実施することができま

地域のイメージアップ と総合的な活力の強化

より大きな市町村の誕生が、地域の存在感や「格」の向上と地域のイメージアップにつながり、企業の進出や若者の定着、重要プロジェクトの誘致が期待出来ま

中核市や特例市の指定を受け、より総合的な行政を展開できま

地域の総合力が向上し、全体的な成長力や苦境を乗り越える力が強くなります。

企画課

内線340

青少年の非行問題に取り 組む全国強調月間

青少年の育成は大人一人ひとりの責務です

未来を担う青少年を心身ともに健やかに育てること、それは家庭や学校だけでなく社会全体の責務です。しかし今、非行やいじめ、不登校など、青少年をめぐるさまざまな問題が深刻化しています。青少年の非行を防止し、子どもたちの豊かな人間性を育むためにはどうしたらいいのか、一人ひとりが考え、できることから取り組みましょう。「青少年は社会を映す鏡」と言われます。まず、私たち大人一人ひとりが、社会のモラルやルールを尊重する姿勢、他人を思いやる姿勢を、身をもって子どもたちに示していくことが重要です。

・見逃さないで非行のサイン
少年非行の傾向として、それまで問題行動のなかった子どもが突然事件を起こす「いきなり型」の非行が生じています。しかし、子どもは必ずそれ以前に態度や行動などの変化で何らかのサインを発しています。このようなサインを見逃さないためには、親をはじめ周囲の大人たちが、日ごろから子どもたちと触れ合うことが大切です。